

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	救急横転事故現場での二次災害の恐れ
3. 体験した事例の中心的要素	スリップによる横転車両事故現場で傷病者の処置中、通行車両 3 台が事故車同様スリップして隊員及び傷病者が轢かれそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	隊員が傷病者の処置のみに集中して交通規制などの周囲の安全確保を怠った。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------------------

.....

1. 発生日時	平成 19 年 5 月 23 日 午前 8 時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：県道（坂道）
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故、その他：隊員及び傷病者が重症又は死亡の可能性があった。
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動中期、 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	応急処置、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[38]歳、勤続年数[16]年、現場経験年数[16]年、階級[消防士長]、同様の活動 [初めて]、任務 [その他：隊長]
○当事者B	年齢[41]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[14]年、階級[消防士長]、同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[26]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	傷病者－22 歳男性、46 歳女性

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	通信員	入電	
経過2	救急隊	出署	
経過3	救急隊	現場着	
経過4	救急隊	現場引き揚げ	
経過5	救急隊	病院着	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

- 事故の場合 ：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
 ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○**注意力欠如、焦り等の対策について**

初心に戻り、活動計画の再確認をする。

○**装備・資機材の対策について**

○**活動環境の対策について**

事故位置、道路状況、天候などの状況を早期に把握して自車両の停車位置や他通行車両への注意喚起を再確認

○**指揮・情報伝達の対策について**

現場到着時の各隊員への指示及び連携確認、警察への早期の現場活動依頼

